

オンライン朝会「相手意識」5/20

先週、5年生がハケ岳に行ってきました。出発の朝、「みんな笑顔で楽しかったねと帰ってこよう」と、毎年、同じお話をしています。このお話のポイントは、「みんな」です。自分一人ではなく、「みんな笑顔」が大切です。

実は、校長先生が、富士見丘小学校で、はじめて日光移動教室に行ったときに、すごいことがありました。

この写真を見てください。ここです。一番高い場所を取って嬉しそうにしていたら、カメラマンが「顔が重なるので、一人降りてくれる？」と声を掛けました。みんなで潔くジャンケンをしようとした時、一人の子が「俺が降りるよ」といって、下の端に移動してくれたのです。

その時、どんな気持ちになったのでしょうか？

うれしい気持ちになったのは、誰でしょう？

では逆に、嫌な気持ちになったのは、誰でしょう？

もう一前の写真を見てください。ここです。浅草の校外学習で、カメラマンがグループ写真を撮ろうとした時、画面の目の前にわざと手を出して、みんなが写らなくなっていました。こんなこと、ありそうですね。

その時、どんな気持ちになったのでしょうか？

うれしい気持ちになったのは、誰でしょう？

では逆に、嫌な気持ちになったのは、誰でしょう？

この2つのお話の違いは、もう分かりますね。自分だけが楽しむか、相手の気持ちを考えて、みんなが楽しめるようにするか、大きく違いますね。ハケ岳では、5年生とてもとても素晴らしかったです。みんなが楽しく笑顔になれました。

みなさんも、自分を大切にするように、お友達や周りの人を大切にしていると思います。でも、うっかり自分だけのことを考えてしまって、「イヤ」とか「やめて」とか言われた時は、今日のお話を思い出して、ハッと気付いてください。



たのしい うれしい よかった

- 1...じぶん 1人
- 2...グループ 4人
- 3...クラス みんな

いやだ こまった つまらない

- 1...じぶん 1人
- 2...カメラマン 1人
- 3...グループ 8人

たのしい たのしい たいせつ



じぶん



みんなえがお



いいね